

# 平成29年3月 経営協議会議事録

I. 日 時 平成29年3月16日（木） 14時00分～16時14分

II. 場 所 千葉大学けやき会館 レセプションホール（3階）

III. 出席者 徳久学長、有馬、犬養、加賀見、香藤、河田、黒木、銭谷、西堀、萩原、  
正宗、宮坂  
中谷、渡邊、松元、安村、猿渡、金原、宮崎 各委員

がざー 桑古監事  
(欠席者：島田、船橋、武藤、堀、山田、酒井、山本 各委員)

IV. 前回審議議事録について  
原案のとおり承認された。

## V. 審議事項

### 1. 平成29年度計画（案）について

(◎学外委員、○学内委員)

中谷理事から、3月末までに文部科学省に提出する平成29年度計画（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

主な意見は以下のとおり。

◎ 平成29年4月1日に国立大学法人法が改正されて、寄附金等の自己収入の運用対象範囲が、より収益性の高い金融商品に拡大できるようになるので、中期計画83及び87については、もう少し記載内容を工夫した方がよいのではないか。

○ 記載の表現について、今後検討したい。

◎ 中期計画76に、「卒業生の千葉県における小学校教員採用の占有率20%確保」という記載があるが、この「20%」の根拠は何か。また、中学校や高等学校教員に対する数値目標は示されていないのか。

○ 数年前に文部科学省が整理したミッションの再定義に記載されている数値目標で、第3期中期目標期間中に達成しなければならないため、小学校教員に特化した数値目標となっている。

### 2. 平成29年度学内予算配分（案）について

猿渡理事から、本学の機能強化、予算面における本学の現状と課題、予算編成の基本的な考え方及び経営力強化に向けた取組等を踏まえた平成29年度学内予算配分（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

主な意見は以下のとおり。

◎ 機能強化の一つとして検討している卓越大学院とは何か。

- 現在のリーディング大学院の後継として、平成30年度から創設される仕組みであり、企業や海外の研究機関等と連携して、世界をリードする博士人材を育成することを目的とする大学院である。  
 本学においても、人文社会科学系、理工系及び生命科学系それぞれの分野で、卓越大学院の獲得に向けて検討しているところである。
  - ◎ 毎年減少している運営費交付金を自己収入で確保するには限界がある。収入予算と支出予算について、損得のないブレイクイーブンとするのではなく、今後、利益が出るような経営をしていかないといけないのではないか。それをどうやっていくかということに関心を持っている。受託事業など外部から事業を受けるに当たって、メリットを享受しないと続かないのではないか。
  - 共同研究や受託研究等の外部資金については、対前年度比で増加するよう努力している。また、附属病院については、診療に対して相応の支出がかかっているが、来年度以降は黒字になるように収支を立てている。なお、授業料の値上げについては、規制があって難しいところであるが、土地の有効活用による自己収入の増加については、現在検討しているところである。
  - ◎ 土地の有効活用をするといっても、それ程の収入があるとは思えないので、病院収入を増加させる方策を考えるのがよいのではないか。
  - ◎ 寄附金獲得戦略に基づいて、寄附金収入の拡大を図り、収入予算にきちんと反映し、努力している姿勢を示した方がよいのではないか。
  - ◎ 大阪大学と中外製薬が締結した包括連携契約という新しい手法であれば、税金もかからないし、共同研究に近い形で協力ができる。また、先日、WPIの会議で、ファンドレイジングに関する説明があり、ふるさと納税など大変有益な話があったので、そのような専門家の話を聞いてみるのもよいのではないか。
  - ◎ ふるさと納税について、千葉大学には園芸学部があるので、寄附をした場合には何らかのものを送るなどといったことをしてもよいのではないか。また、資産運用も積極的に考えてみてもよいのではないか。
  - ◎ ふるさと納税は、自治体の協力も必要なので、良好な関係を築いておくことも大切である。また、確かに園芸学部があるので、クリスマスにはポインセチアやシクラメンを送ることを考えてみてもよいのではないか。
3. 学内組織の改組等に伴う規則等の改正等について  
 中谷理事から、平成29年4月1日学内組織の改組等に伴う規則等の改正等について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。
4. 国立大学法人千葉大学就業規則等の一部改正（案）等について  
 安村理事から、年俸制職員給与規程適用者以外の教員に係る教育研究等の活動状況を評価するとともに当該評価結果を適切に処遇に反映させるため、平成29年4月1日に制定する国立大学法人千葉大学教育研究活動評価規程について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

続いて、猿渡理事から、平成28年人事院勧告対応及び平成29年度組織改組等に伴う国立大学法人千葉大学職員給与規程等の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

## VI. 報告事項

### 1. 中期計画の変更について

中谷理事から、平成28年度国立大学改革強化推進補助金（特定支援型）の採択に伴う中期計画の再変更について、資料に基づき説明があった。

### 2. 国立大学法人等の第3期中期目標期間における年度評価実施要領の一部改正等について

中谷理事から、国立大学法人等の第3期中期目標期間における年度評価実施要領の一部改正等について、資料に基づき報告があった。

### 3. 平成29年度千葉大学個別学力検査等実施状況について

渡邊理事から、平成29年度千葉大学個別学力検査等実施状況について、資料に基づき報告があり、志願者数については、昨年に続き国立大学第一位であった旨説明があった。

### 4. 経営協議会委員について

学長から、平成29年度経営協議会委員について、資料に基づき報告があった。

### 5. 理事等について

学長から、平成29年度理事等について、資料に基づき報告があった。

### 6. その他

#### ①平成29年度研究拠点形成事業 A. 先端拠点形成型の選考結果について

渡邊理事から、平成29年度研究拠点形成事業 A. 先端拠点形成型において、本学のマルチモーダル計測医工学の国際拠点形成が採択されたことについて、資料に基づき説明があった。

#### ②千葉大学墨田キャンパス（仮称）構想について

渡邊理事から、千葉大学墨田キャンパス（仮称）構想に関する経緯及び今後の予定等について、資料に基づき説明があった。

主な意見は以下のとおり。

◎ タイトルの「CHIBA UNIVERSITY SCHOOL OF DESIGN AND ARCHITECTURE」の最後に「IN SUMIDA」と入れて、略称も「CUSDAS」として、墨田キャンパスというのをもっとアピールしてはどうか。

◎ グローバル人材育成の一環として、留学生をこのキャンパスに受け入れて、モノを一緒につくりながら学ぶということは、コミュニケーションスキルを養うという意味でも大変有効であると思う。また、地方創生の観点からも、墨田区に貢献できるすばらしい構想である。

- ◎ 大変興味深い構想である。ただ、芸術系のアトリエとしては、少し面積が小さいのではないかと感じる。
  - これから墨田区との交渉とはなるが、千葉大学が使えるような跡地が他にもあるので、検討していきたいと考えている。確かに小さいが、まずはこのサイズで成功することから始めたいと考えている。
  - ◎ この構想をプランニングするに当たって、どのような人材が必要か企業サイドにヒアリングなどは行ったのか。
  - このプランニングに関してヒアリングは行っていないが、この分野で足りないと言われている人材の育成についてはフィードバックをしており、さらに新しい建築やデザインの領域に関しては、今後企業に対するヒアリングを行い追加していきたいと考えている。
  - ◎ 大変すばらしい構想なので、ぜひこれを形にしていきたい。また、国際色を入れて、世界的に輝くものにしていただきたい。
  - ◎ いろいろな新しい試みを取り入れて、全く新しい考えで運営することを考えていただきたい。
- ③本学学生・職員による不祥事への対応について  
中谷理事及び渡邊理事から、本学学生・職員による不祥事の経過及び学生に対する今後の倫理教育学について報告があった。

続いて、学長から、任期満了で退任となる学内委員に対し謝辞が述べられた後、卒業式及び入学式における学外委員の来賓祝辞について紹介があった。

以上